

2020.12.18(金曜日)/ウォーキングクラブOP企画

名鉄犬山線で巡る、尾張富士から本宮山周回下見



大宮浅間神社の大きな石の伊勢鳥居をくぐり抜けて、気合を入れて尾張富士の奥宮へ



尾張富士山頂の奥宮拝殿、祠の裏に回れば入鹿池と名古屋駅前ビル群の眺望抜群

師走に入り、13日の初めより強い寒波が日本列島を覆い、積雪にはなりませんでしたが、名古屋でも16日・17日は雪が舞い、厳しい寒さとなりました。

当日は幸い寒波が過ぎ去り陽射しは無いものの、風も無く、歩いていけば暑くも寒くも無く快適にウォーキングができました。

地下鉄平安通駅で、名鉄小牧線 8:45 の普通電車に乗車して、羽黒駅に 9:13 に到着です。

今日は下見ですので男性3名、女性1名の4名の有志の参加です。

代表はご都合が悪く残念ながら欠席でした。

綺麗な羽黒駅の改札口を出れば、目の前に低いながらも秀麗な尾張富士を真正面に見る事ができます。早速、軽い屈伸運動とストレッチを行い、五条川沿いの尾北自然歩道を大宮浅間神社に向かいます。五条川は源流域を八幡山・高社山に持ち、入鹿池を経て大口町・岩倉市を縦断し、清須城の脇を流れて、新川に合流し、その後庄内川と共に伊勢湾に至ります。

五条川の護岸には桜が植栽されていますが、すっかり紅葉の葉を落とし冬木立の寒々とした光景でした。

「山崎川と比べてどちらが綺麗かしら、私ハイキングクラブの時、岩倉まで歩きました」

との話がありました。花見の頃の定例会に考えるのも一興かも知れません。

のんびり散策ハイクで富士橋を渡り、これから先は長者町の住宅地を通り、尾張富士の麓の浅間神社の立派な石鳥居をくぐり抜けました。

尾張富士と言えば、やはり尾張三大奇祭の石上げ祭りが有名で毎年8月の第1日曜日に行われます。神社の案内によれば、敬虔な信者の夢枕に木花開耶姫命(このはなのさくやひめのみこと)が現れ、本宮山より低い事を嘆いたことから木曾川の石を山頂に奉納し、家内安全・五穀豊穡を祈願し、ご利益が叶うとのいわれです。参道の両側には大きな献石が多数あります。

本殿の石畳みを通り抜け、皆さん健脚でバランス感覚の良い方なので、何のためらいもなく、いよいよゴロゴロ岩の石段の道です。踏み石は昨日の雪で濡れており、滑り易いので緊張感を持って慎重に脚を運びます。ひとつ間違っただけで滑って転倒などすれば、自己責任とは言え、日頃の行いの悪さを言われたうえ、傷害保険適用になればシャレになりません。

やがて息が弾むころ、浅間神社の奥宮です。陽気が良いので地元の常連さん達が、山頂に数人見えました。



明治村正門で、岐阜バス犬山駅に向かう方と別れ、我々は本宮山コースで別行動



見晴らし茶屋の前は地元と名古屋ナンバーが満車、心が急くのでラーメンでそそくさ出発



入鹿池の堰堤より八曾山・高社山展望、沖合にワカサギ釣りのボートが多数見えました



愛知用水管理道路より本宮山と西尾根の眺望

社の裏の見晴らし台から入鹿池を俯瞰し、名古屋駅前の高層ビル群も良く展望できました。小休止の後、明治村正門に下ります。林道管理道路と参道の2コースがありますが、近道の参道の石段を下ります。濡れた落ち葉と、石段の苔で滑り易いので気が抜けません。やはり緊張と慎重で脚を運びます。

参道を下り中程の管理道路に合流した所で、皆さんの意見を聞き、歩き難い参道を止めて距離は長くなるが、管理道路歩きコースに急遽変更です。初めての怪しげな道を下り、進入禁止ゲートを避けて軽い藪漕ぎで脱出し、明治村正門に到着しました。

予定のある二人とはここでお別れして、岐阜バスで11:30に乗車し犬山駅に向かいます。我々二人は入鹿池の見晴らし茶屋に向かいランチタイムとします。見晴らし茶屋は貸しボートもあり、今はワカサギ釣りの方が多数見えました。シーズンが変われば、ブラックバス釣りも人気があるようです。

駐車場には釣りの車が沢山止まっており、ワカサギ釣りのボートも沖合に多数見えます。

広い入鹿池を眺めながら、堰堤を南に池野交差点に向かいます。尾張三山の麓は大規模な碎石場が多数ありダンプの交通量が多いので、歩道の無い道では交通事故に要注意です。

愛知用水の管理道路を通り、本宮山西尾根(仮称)登山口から山道を登ります。両側が雑木の冬枯れの急登の道を息を弾ませ

ながら登ります。

あまりハイカーの入らない道は落ち葉・枯れ枝が積り滑り易い道です。

山に慣れたハイカーであれば、それ程危険箇所ではありませんが、このコースは一般コースとしてはややハードルが高いと思われました。また、木の根が地面より浮いている場所や、倒木などの障害物が多数あり、歩き難い急登を登り詰めると、やがて奥宮の祠の横に出ました。祠の裏には標高292.9mの立派な1等三角点がありました。

本宮山山頂からは曇りが多く、あまり眺望がありませんでしたが、猿投山の稜線や、奥三河の稜線のシルエットが確認できました。

小休止の後、大泉神社に下山します。西尾根に比べ奥宮の参道は石段が良く整備されており、手摺があるので安心して下る事ができます。石段の先は管理道路でのんびり散策しながら下る事ができました。

途中で農業用灌漑溜池があり、大きな緋鯉が飼われていて、餌の麩を持ち合わせないのに多数の鯉が集まり、パピロフの犬の様でした。やがて大泉神社に13:30に到着しました。

これで、今回のミッションは全て完了です。後は楽田駅までの2km程の県道歩きです。タイミング良く14:05の電車に乗車し、本願寺町の我が家に15:20に帰宅できました。因みに総歩数は21,500歩、歩行距離は15km、歩行時間は3:30でした。

(記31期 宮田 岩男)



本宮山山頂から猿投山・折平山を展望



朱塗りの姫宮本殿

